

公立大学法人 長野大学 理事会 議事録

- 日 時：令和6年7月24日（水） 9：30～10：55
- 場 所：長野大学 4-304会議室
- 出席者：平井利博（議長）、小林淳一、織英子、塚田國之、前田裕子、若林信一、熊谷圭介、山浦和彦、市村和久、金子和寛（監事）（監事）
- 欠席者：柳原 渉（監事）

議事概要

1 議事録

前回（6月26日理事会）議事録の確認・確定

理事長から、前回議事録中議案第5号の名称変更に関して、文系学部として括られることがないような名称を定めることを第一と考えており、そんな中でこれまで〇〇理工学部、あるいは〇〇工学部といった意見があったが、当面は共創情報科学部（仮称）を進めることとし、最終的に名称が変わる可能性もあることを含んでいただきたいとの発言があった。

2 審議事項

議案第1号 常勤講師を採用するための就業規則等の改正について

小山法人運営改革室主幹から、本学の全教員を裁量労働制の適用対象とするために「講師」の職位を設けることについての説明及びこれまでの学内検討の経過が報告されるとともに規程の改正案の説明があった。説明に対し、助教は比較的若年者であるので、より多くの時間を研究に充てなければならず、裁量の範囲が大きい（＝裁量労働の対象と捉えられる）ようなイメージがあるとの指摘があり、これに対し、教授、准教授及び講師が所定労働時間の概ね5割程度まで授業を持てるのに対し、助教は1割程度であることが厚労省の指針で定められていることから、助教に教授、准教授と同程度授業を持たせた場合裁量労働が適用されず、そのために今回の提案に至った事が補足説明され、関係規程等計16本を改正することが了承された。

議案第2号 総合福祉学研究科募集要項について

須永広報入試担当課長から 2025年度大学院総合福祉学研究科の募集要項について、昨年度からの変更点として、筆記試験免除申請に関する具体的な記載を追加したことの説明があった。その他の修正箇所は日程等の変更のみであり、原案どおり了承された。

3 報告事項

(1) オープンキャンパス実施結果報告【広報入試担当】

須永広報入試担当課長から、7月20、21日に開催したオープンキャンパスの実施結果として、昨年度比で参加者が150名以上増えたことが報告された。

(2) 令和5年度自己点検評価結果について【経営・企画・財務】

上畑学長企画室長、経営・企画・財務担当から、令和5年度自己点検評価学結果の報告があった。

報告に対し、大学院の定員充足と教員組織という重要な事項でC評価があり、こうした点が設置審に新学部の申請をする際に悪影響を及ぼさないように、原因分析をしたうえで対策を示すことが必要であるとの指摘があった。

(3) 監事からの指摘に対する回答について【総務・人事・施設】

菊池総務・人事・施設担当課長から、前回理事会での監査報告において監事から事務局長あてに提出された指摘事項への対応について報告があった。報告に対し、特に淡水生物学研

究所の活動についての質問と、同研究所において地域から求められている研究ができていないのであれば、産学官連携組織がリードして産業界や行政と繋ぎ、研究内容を研究者任せにせず上手に働きかけをする必要があることが指摘された。

上記指摘に関して産学官の連携をするための「学」としての体をなしていないのではないかと厳しい指摘もあり、現員だけでは難しい部分があるので今後新学部に採用する新たな人材を含めてスタッフを整備し、まずは「学」として動ける組織とすることを確認した。

(4) 諏訪広域公立大学事務組合による行政視察について【総務・人事・施設】

菊池総務・人事・施設担当課長から、諏訪広域公立大学事務組合による行政視察が無事終了し、礼状が届いたことが報告された。

(5) 大学院完成記念講演会及び HOPE2050 若者との県民対話の開催について【総務・人事・施設】

菊池総務・人事・施設担当課長から、今週末 27 日に長野県主催の HOPE2050 若者との県民対話が開催される旨の報告があった。

(6) 研究不正防止に向けた取組（研究倫理教育）【市村理事】

市村常任理事から、研究不正防止に向けた取り組みとして駒澤大学の不正事例（目的外使用）が報告された。

○ 監事からのコメント

上記以外に特になし。

以上

次回開催日 令和 6 年 8 月 2 8 日（水）

議長 平井 利博